

会 議 録

1 会議名

令和7年度第5回保倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的な審議】

- ・消防団・体育委員との懇談会振返りについて（公開）
- ・令和8年度の進め方について（公開）

3 開催日時

令和8年2月5日（木）午後6時00分から午後7時25分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員： 神村会長、白田副会長、佐藤委員、高島委員、中島委員、羽山委員、平井委員、藤田委員、巻内委員、丸山委員、八木委員、渡邊委員
(欠席者なし)
- ・事務局： 北部まちづくりセンター 内藤所長、勝島副所長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【神村会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：丸山委員、八木委員に依頼

【神村会長】

議題【自主的な審議】消防団・体育委員との懇談会振返りについて、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

・資料No.1 「消防団・体育委員の皆さんとの懇談会（R7.11.25実施）振り返り」

資料No.2 「保倉歩こう会 振り返りまとめ」に基づき説明

これから委員の意見をお伺いし、令和8年度はどのように進めていくか話したい。

【神村会長】

11月15日の「消防団・体育委員と地域協議会委員との懇談会」では消防団、体育委員を合わせて9名の参加だったが、資料を見ていただくと、出た意見を思い出していただけたと思う。

私が個人的に記憶に残っているのは、今日お集まりの地域協議会の委員の皆さんが、「若い人たちの意見と地域協議会委員の意見はそれほど大きなズレはない」ということを最後に感じていらっしゃったということである。一人一人の思いや願いは、心の中に詰まっていると思うが、今後の活動に役立てるところは、役立てていかなければいけないと感じている。

私、個人の感想を先に述べたが、資料を見ながら、この点についてはもう少し考えた方がいいのではないか、この意見をいかしてはどうかなど、皆様からご意見をいただきたい。

【渡邊委員】

令和6年の100kmマラソンの応援では声を張り上げたり、令和7年の歩こう会は雨天で歩くことはできなかったが、ミニ運動会をやって、やってみると楽しかった。参加した人はやると楽しいと感じたと思うが、参加できなかった人は本当に楽しかったのか実感できてないと思う。人集めの問題の項目にもあったが、「楽しかった」ということをもっとアピールして人を集めていけばいいのではないか。

歩こう会は雨天案のミニ運動会をやったが、「歩こう会もやって、それとは別に運動会もやってもいいのでは」というような意見を聞いた。私も賛成の気持ちである。催し物をたくさん、いろいろな物やってみて、地域の皆さんから来てもらえれば、資料にあるように「久しぶりに顔を見た。喋る相手がいた。」など、そういうことにつながっていくと思う。根気よくやっていく必要があると思った。

【神村会長】

実施するのは大変だが、やってみると地域のイベント、催しの価値が分かる。

【平井委員】

歩こう会は、地域の歴史を学ぶ非常にいい機会である。歩く予定であった長岡町内の平野邸について、地域の方からせっかくまとめていただいた資料が全員に渡らなかった。ここにいる皆さんもそうだと思うが、平野邸の歴史、この地域の歴史について、皆さん分からないと思う。だからこそ、この地域のところを見て歩くというのも、非常にいいのではないか。歩こう会の企画も、とても良かったと思う。他の町内では、駒林の剣神社にもいいものがあると思う。そういったところを各町内から推薦してもらい、歩こう会で何年かにわたって見て歩くというのも非常にいい試みではないかと思う。こういったことをきっかけにして、地域のつながりを作っていくというのもいいことだと考えている。

【神村会長】

地域の歴史探訪は、大人にとっても再発見のいい機会になると思うので、「こんなもの」と思わず積極的に各町内で洗い出していけば、まだまだあると思うので参考にさせていただきたい。

【平井委員】

地域の方からせっかく作っていただいた資料なので、一度訪ねてみていただきたい。

【神村会長】

三々五々行くわけにはいけないと思うので、イベントに合わせたり、来週、学校運営協議会があるので、小学校の来年度の教育活動の計画に向けて参考として紹介してみたい。

【平井委員】

先日公民館の担当者と話をしたが、この地域には用水の歴史もある。上江用水は、先人が個人の財産をつぎ込んで300年くらいかけ、距離約26kmを掘り継ぎした事業である。中江用水は、高田藩の藩営事業で、同じ26kmを3年、100分の1の年月で掘った事業である。そういったものを、地域の一つの昔からの事業ということで、紹介できたらと思っている。

【神村会長】

なかなか勉強する機会がない。

稲作が盛んな保倉地区なので、その歴史はそれぞれあるし、新田開発もずっと続いている。同じ保倉地区でも、それぞれ与えられた条件が違うので、それぞれ苦労してきた先人の遺徳があると思う。そういったことが石碑に残っているので、石碑等を丁寧に読み解いていくと、一つ一つの石碑にその当時関わられた人たちの思いや願いがあるのだろうと感じる。石碑等を見て回るというのも一つの方法になるかもしれない。

私は、資料を見ながら振り返る中で、人の集め方について「参加しましょう」というのも大事だが、ある程度役割をつけて強制的に誘わないと出てこない、「あなたの役はこれですよ、この仕事お願いします」と言わないと出てこない部分もあると思う。出てくれば楽しいが、そこまでが腰が重いようだ。ある程度役割をつけて、出てもらわなければいけないという気がする。だから、強制感はあるが人数割等も必要ではないかと思うし、その中に消防団を加えていくのもいいが、消防団もかなり忙しいという気もする。そのあたりを含めて、8年度の中で話していきたいと思う。

ほかに意見を求めるがなし。

振り返りに関わる場所は、これで終わりとする。

続いて、議題、令和8年度の進め方について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料No.3「令和7年度保倉区地域の声（子育て世代・健康福祉関係者・消防団、体育委員との懇談会）まとめ」に基づき説明

【神村会長】

質問、意見等を求めるがなし。

いろいろと活動をしてきたが、今年を振り返って、また来年やってほしいことなど、是非意見を聞かせていただきたい。

【高島委員】

今年を振り返ると、歩こう会が雨でできなかったことが非常に残念だった。渡邊委員から歩こう会とミニ運動会を別々にしたらいいのではないかと発言があったが、参加した方からもそういう意見を聞いた。歩こう会は、雨天の場合延期という意見もあるが、延期すると参加人数が変わってしまい、人数把握も大変で無理ではないかと思う。田植えが終わってから歩こう会という意見もあったが、毎年田植えが終わると小学校の運動

会があるので無理だと思う。意見は意見としていいが、実際やるとなると少し難しいのではないかと思う。

【神村会長】

高島委員のように、意見は意見としてあるが難しいのではないか、運営するとなると具体的には課題が大きいなど、いろいろとご意見があると思うので、順番に聞かせていただきたい。

【渡邊委員】

意見ではないが、保倉区地域協議会だよりの裏面に、「灯の回廊」が載っているが、これは何か。

【藤田委員】

4、5年前から2月に、上越市の「灯の回廊」に合わせて、上吉野、下吉野町内会が合体した、蓮の町地区の有志で保倉地区公民館前でも灯の回廊を実施している。夜になると、とてもとても綺麗で、国道253号線沿いの雪に穴を掘って、ろうそくをつける。考えてみれば簡単である。

この地区には子どもはいなくて、ほとんど老人ばかりでやっているが、子どもたちなら喜んでやってくれるのではないかと思う。

【渡邊委員】

もっとアピールしてくれればよかった。知らなかった。

【藤田委員】

今年は雪が多いから、もっとすごくなると思う。保倉地区でも、ぽつんぽつんとでもいいから、各町内、公民館の前あたりで明かりを灯してみてもらえれば嬉しい。

【神村会長】

アピールする機会がなかなかない。安塚区や大島区の灯の回廊を見に行く人が、驚いて通って行くそうである。5年ほどやっていらっしゃるという蓮の町地区の自主的な活動だが、これも地域コミュニティにとっては一つの大切な催しである。

【佐藤委員】

今年度の歩こう会は残念だった。ラジオ体操は、今年は体育委員に動員をかけて人数が集まった中で、ラジオ体操だけで終わってしまったのは残念だという気がする。じゃんけん大会等をして、少しでも足を止めて交流を深めるといいのではないか。

次年度は、100kmマラソンがあるので、保倉区の事業として一点集中したほうが

いいのではないか。あれもこれをやると中途半端になるので、集中するところを決めて力を入れたほうが良いと思う。

【神村会長】

私も佐藤委員の意見と同じで、今やっていることを継続しながら中身を工夫していこうというあたりは非常に魅力的だと思うので、ラジオ体操に集まったら、せっかくだから簡単にできるようなもののアイデアを出し合っていければと思う。例えば、子どもはおやつをもらえるが、大人も朝のコーヒーが飲める、パンを朝食代わりに食べられる、じゃんけんをして勝った人には子どもに花火のプレゼントがあるなど、夢を膨らましていきたい。

【中島委員】

昨年度の反省としては、広報関係、周知徹底について反省するべきだと思う。私の町内では、周知徹底をした。いろいろなところに資料を配り、歩こう会の資料も、各子どもがいるご家庭一軒ずつに資料を印刷して配るなどして広報したつもりである。それで何とか参加率が向上した。今年もいろいろな場面で周知徹底してやっていこうと思っている。小泉町内会の春集会では、「昨年みなさんから大勢の参加をしていただいたので、保倉地区の活動を推進できた」ということを報告しようと思っている。

それから、催しの内容としては、早朝ラジオ体操は、30分くらいの間で終われるような催しが重要だと思う。そうすると、じゃんけんか抽選会のどちらかになると思う。

100kmマラソンの応援は、前回太鼓などのアイデアが出た。私も町内会の方に十分な参加を呼びかけたいと思っているので、これだけは実行していきたいと思う。とにかく参加しないと、大勢集まらなないと、どんなことも盛り上がりに欠ける。今年は周知徹底を早めにやっていこうと思っている。

普段地域の催しに出ない人がいるが、無理なところもあると思う。ある程度出てくれそうな方を絞って、神村会長が言われるように、ある程度強制の部分も必要ではないか。体育委員、若手の方は全員参加、役員は参加、保倉まちづくり振興会の役員は参加など、少し呼びかけようと思っている。

【羽山委員】

前回11月25日は、私は欠席してしまった。

小学校の運動会と一緒にできないかという話があるが、これはなかなか簡単にはいかないと思う。今までのように、保倉地区と保倉小学校の合同の企画としてできれば一番

理想なのだろうが、学校側や市の教育委員会とのからみで難しい面があって、途切れたような形になったと思う。本当は、一緒にできればありがたいと思う。

それから、100kmマラソンについては、私は令和7年度から町内会長になったが、前会長の話を聞くと、前回の100kmマラソンのときは、保倉は80km地点で、一番速い人と一番遅い人の時間がありすぎて対応に苦慮するそうだ。速い人は12時に来て、遅い人は暗くなってバスで出て行くという話を聞いた。そこをどうにかしろというわけにはいかないだろうが、時間的に長すぎる面があるのではないか。応援して、みんなに頑張ってもらいたいのはやまやまだが、そこらへんも検討の課題になるのではないか。

【平井委員】

私も以前、100kmマラソンの応援に出たことがある。途中で棄権せざるを得ない人が出てくる。長岡町内のあたりが何kmになるかわからないが、かなり距離が進んでいるところである。

私は個人的に信越五岳トレイルランニングレースの応援に毎年出ている。100kmマラソンのルールを作りの参考になると思う。

【神村会長】

上越市の100kmは来年最後で、ルール上はお楽しみ会的な要素が強い大会で、エイドも対応しているのが現状である。来年はクマ対策が必要になってくると思う。

【藤田委員】

8月のラジオ体操は、皆さんが言われたように、体操だけではなくて、終わった後、子どもたちは子どもたち、大人は大人でゲームやじゃんけんをして、勝ち残った子どもと大人が最後に決勝戦のようなことをして、1、2、3位まで決めて、その人たちにはちょっと豪華な景品を出す。これを毎年続けると楽しみになって、子どもたちが8月はじゃんけん大会だと思って出てきてくれるのではないかと思っている。

歩こう会については、春にやってはどうか。上吉野の池の淵に立派な桜の木が20本ぐらい植えられている。無理かもしれないが、役員の人たちが体育館の前で豚汁等を作って、帰ってきたら皆さんに豚汁を食べてもらって、できればご飯を炊いておにぎりでも出してやれば、皆さん喜んで帰ってくるのではないか。

そんなことを考えていたが、かなり大変だと思う。

100kmマラソンについては、今年の10月で最後なので応援に力を入れなくても

いいのではないかという意見も聞かれたが、最後は最後として、皆さんから一生懸命100kmマラソンに力を入れて応援してもらいたい。

それから、町内では「うちに年ごろの子どもが3人いるんだけど、田んぼばかり一生懸命で、全然、彼氏と彼女を作るきっかけがない。どうにかならんもんか」と、そんな話を聞いた。婚活支援を望む声もある。

【巻内委員】

100kmマラソンが今回で終わりということになれば、歩こう会やミニ運動会に対してもっと肉付けしたようなやり方で、皆さんが盛り上がっていただけるような形でやっていくしかないのではないかと考えている。

昨年、体育委員の人たちの中で、少し嫌な顔をしている人たちを見かけた。そういった人たちに対しても、もう少しにこやかな感じで楽しくできるような、そんなイベントにしていってもらえればいいと思う。そのためには、体育委員の人たちに対して、一緒に参加して、楽しくやっという気持ちになっていただけるような形にしていきたい。

一人一人考え方が違うと思うので何とも言えないが、歩こう会が終わって帰ってきてからも、皆さんで楽しく賑やかに少し遊べるような、わいわい話しができるような、そういう機会や雰囲気を作っていっていいのではないかと考える。

【丸山委員】

昨年、初めて町内会長になってから、ラジオ体操やミニ運動会に参加させてもらったが、たくさんの方が集まるんだなと思った。私としては、結構盛り上がってやれたのではないかと考えている。これから、いろいろ少し足りない部分、ラジオ体操であれば、じゃんけんやくじ引きをしたらどうかなどの意見があったが、そういうことも重視して、皆さんで検討しながら盛り上げていければと思う。

個人的な話だが、昨年は国勢調査で、私は調査員として4地区もあたって正直なところ大変だった。80軒、90軒くらい回らせてもらった。石川町内の大体の方の顔はわかるが、ほかの地区を回ってみて、こういうお宅もあるのかと感じた。今日の資料に、「高齢者の見守り等」とあるが、国勢調査で高齢者世帯を目にして、難しいかもしれないが、事業としてできる形も作れればと感じた。

【神村会長】

ひとり暮らしの方の見守りは、本当に大きな課題だと思う。民生児童委員が回ってい

ると、担当の町内会長さん方が声を掛け合って、見逃しのないように声掛けを継続していく必要があるだろうと思う。また、ひとり暮らしの方が入院されたり、施設に入られたりなど、いろいろな状況の中で日々刻々と変化していくし、この雪の中で連絡が途絶えるということもあるので、保倉区だけの課題ではないが、今の丸山委員の意見のとおりだと聞かせてもらった。

【八木委員】

私も保倉まちづくり振興会の会長を務めていた時、しめ縄作りなどいろいろなイベントをやった。皆さんから声を掛け合って出てきていただいたが、わらの調達も、しめ縄をやる人も高齢者になってしまった。若い人がやらない。そういう関係もあり、次の年もやってほしいという人もいたが、やめた。

歩こう会は、実質は歩いていない。当日、雨模様ということでリスクもあり、前日から縄跳びなど、いろいろな道具を校舎へ運んで支度をするのも大変だが、1回きりでやめるのではなく、継続をしていったほうが良いと思う。

ラジオ体操も、子どもが来ると保護者がついてくるので、参加者はかける2になる。子どもには親も期待しているし、子ども自身も、これからこういう農村地帯でいろいろなことをやってみたいという気持ちが私はあると思う。冬は灯の回廊、かまくらを作ってみたり、作物も米やさつまいも等、毎年その場所で何か作ってみたりするなど、この地域だからこそできる体験を充実させていく、そういうもののほうが長続きするのではないかと私は思う。

【渡邊委員】

今日が令和7年度の会議最後ということである。令和6年度から、保倉区は町内会長が地域協議会委員に選出されているわけだが、いきさつは保倉地区として、町内として、事を実行するにあたっては、町内会長でないと仕切れない。今までの地域協議会委員の皆さんは一般の人で、なかなか事を動かすことができない、やはり町内会長だということで、町内会長が全員集まったということだったと思う。

今日、皆さんがいろいろな意見を言われたが、消防や子ども会など、それをまとめるのはやはり町内会長になってしまう。私も地域協議会委員になって、この地域協議会はどうな組織なのかというようなところから始まったわけだが、顔を出させてもらうにしたいが、地域のためにいろいろな活動ができる、また活動する、そのためにはやはり町内会長でないと地域協議会は運営できないと感じた。

これからの皆さんからもいろいろな案が出ると思うが、それをまとめるのは町内会長になってしまうと思う。この委員以外にも町内会長さんがいらっしゃるが、巻きこんで、いろいろな事を実行するには、やはり皆さんの、協議会委員というよりも町内会長という立場での行動が必要になってくるのではないかな。

【白田副会長】

正直なところ、このメンバーで会うのは最後ということで、事務局の方も含めて、どんなメンバーになるのかわからないが、7年度やってきたことは、決して間違いではなかったと思うし、いろいろな方の意見を聞く場を作っていたいただいてありがたかった。

せっかく意見を聞いたのだから、その方々の意見をできるだけ反映できるような形で、8年度取り組めたらいいのではないかなと思う。いろいろな意見もあるだろうが、せっかくラジオ体操、歩こう会とミニ運動会等をやってきたので、それをベースにして、それらのイベントを今まで以上に良いものにしていくような形で、取り組んでいくことがいいのではないかなと感じた。

一度コロナで落ちた、活発ではなくなった地域の活動を、ここまでよくできるようになったというのが実際のところだと思う。できるだけ今までやってきたものを踏まえて、これからの取り組みをしていったらいいのではないかなと思った。

【神村会長】

皆さん一人一人からご意見をいただいた。子どもを真ん中に、そして若手の人たちとどうつながりを作ってこれから進んでいくのか、さらに女性の参画、この辺も課題になってくると思う。これらの課題を具体的な実践に移していくために、新年度に向けて、活発に議論していければと思っている。

以上で振り返りと8年度の意見交換については終わりとさせていただきます。

その他について、事務局何かあるか。

【丸山主任】

- ・次回協議会：会長と相談の上決定

【神村会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。